

帯広市立北栄小学校 学校便り No.21号



ほくえい

- 思いやりのある子
- たくましい子
- 助け合う子
- よく考える子
- 進んでやる子

<http://www.hokuei.obihiro.ed.jp>

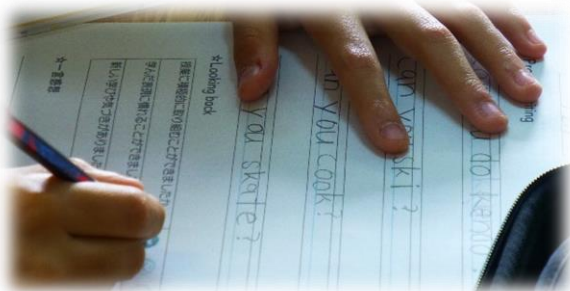
令和元年12月5日 発行者 校長 池下栄里子

本校でもインフルエンザが猛威を振るっています。2年生の閉鎖が開けて久しぶりに学校に来たなどと思いきや、今度は3年2組と5年生の閉鎖。また、今まではほとんどがA型でしたが、B型も出始めてきました。引き続き予防を心掛けたいものです。

また、帯広小学校で駆除されたヒグマには驚かされました。町中に出没するとは全く想像していないことでしたから…。ましてや北栄小校区のすぐそばでしたから、皆さんも大変心配されたことと思います。しかし、けが人が出なくて本当に良かったです。何が起きるかわからない、想定外を想定することの難しさを感じました。

5年1組松浦学級 外国語科全校交流授業

先日、5年1組で外国語の交流授業が行われました。本校では、外国語・外国語活動の研究を進めて2年が過ぎようとしています。今回の5年1組の授業では、子ども達に授業の流れや本時のゴールが理解され、主体的に学習できる手立てがありました。また、まとめの段間で英語を書くこともしっかりできていて、これまでの積み重ねが現れていました。2年間の取組の成果を感じる事ができました。



よりよい授業を目指して ～帯教研で授業を開く～

子ども達が学校で長い時間を過ごしているのは、なんと言っても勉強時間です。ですから、勉強が楽しいと感じてもらえるような授業を提供することが何よりも大事になってきます。

2学期に、日常の実践を他校の先生達に公開する機会がありました。4年2組吉村学級では外国語活動を、3年2組野久学級では体育の授業を公開しました。

授業を校内の先生だけでなく、他校の先生方に観ていただくことで、新たな気づきもあり、そのことがよりよい授業につながっていきます。



「教師は授業で勝負」といわれています。これからも積極的に授業を開いて授業力upを目指していく、そんな教職員集団でありたいと思います。

「学校、きれいですね！」 お客さんにほめられましたよ

先日、学校にいらっしゃったお客さんから、校舎がとてもきれいだとお褒めをいただきました。毎日、子ども達が熱心に掃除をしてくれるお陰です。



開校67年目の学校をこれからもみんなできれいに使っていきたいです。

生産者といっしょに 「ふるさと給食」(1年生)

「ふるさと給食」では、いつも以上に地元の食材を使ったものが提供されます。今回は、その地元の野菜を生産している代表として、『十勝地区農協青年部協議会』の方々が来校し1年生と一緒に給食を食べました。

本物のビートを触らせてもらったりたくさん交流したり、楽しいひとときとなりました。子ども



達の美味しそうに食べている姿を見て、青年部の皆さんもとても喜んでいました。

授業参観ありがとうございました

2学期最後の授業参観にお越しいただきありがとうございました。(学年閉鎖のため延期されていた2年生の参観日は今日行いました。)

子ども達は日々成長しています。皆さんにご覧いただいた学習発表会からも確実に成長しています。

これからも、学校と家庭・地域で連携・協力して子ども達が健やかに成長してくれることを願っています。



修学旅行発表会

6年生が修学旅行の発表会を行いました。第一弾は5年生に、第二弾は参観日で保護者に向けてでした。先輩からのアドバイスや修学旅行の楽しさを聞いていた5年生は、来年の修学旅行がとても楽しみの様子でした。保護者の皆さんには、子どもの成長を感じてもらえとのではないでしょうか。



学級担任の持ち上がりについて検討中

小学校は人生の中でも一年一年が著しく成長する時期です。また、今、目の前にいる子ども達が大人になるころは、どんな時代になっているか想像することができないくらい変化が激しいとも言われています。ですから、小学校の6年間は、担任を毎年変えて、子ども達にとって様々な物の考え方に触れさせることが望ましいのではないかと考えています。

本校は、これまでも原則1年とはなっていましたが、様々な事情で持ち上がる事がほとんどでした。校内人事は全体的にとらえて決定しますが、可能な限り、毎年担任を変えることで、子ども達により豊かなものの考え方を身に付けさせる環境を整えたいと思っています。

3学期の参観日には、新年度の方向性を保護者の皆さんにお伝えする予定です。

情報提供②

帯広市「教育懇談会」より

『コミュニティ・スクール』について

帯広市では、今年十月から八校の小中学校で「コミュニティ・スクール」が導入され、五つの協議会が設置されました。

(二)なぜ、家庭・地域との連携・協働なのか

☆これからの時代を生き抜く力を育成するため

・「答えのない課題」に「最善の答え」を導く力

・自ら課題を見つけ解決していく力

・コミュニケーション力や協働する力など

☆複雑化・困難化した課題へ対応するため

・スマートフォン・SNS等の適切な利用の促進

・外国人家庭や貧困家庭への教育的サポート

・児童虐待の防止に向けた対応 など



学校だけで十分に対応できない困難です。ですから、家庭や地域も連携・協働して教育機能を發揮する必要があります。

